

いつまでもお元気で—中川市長が最高齢者を表敬訪問—

8月30日(水)、中川市長が市内にお住まいの最高齢者を表敬訪問し、長寿をお祝いしました。最高齢者は男性が104歳の十河好夫さん(南町)、女性が103歳の金澤るいさん(国正町)です。

十河さんの長寿の秘訣は、自然体でいること。104歳とは思えないお話ぶりで、市長に対し「あんた、ええ体しとってや」と褒め、周囲を笑わせる場面もありました。

身近な高齢者をみんなで祝い

市内全地区において、心のこもったあたたかいお祝い会「高齢者あったか推進のつどい」が開催されています。お孫さんたちも加わっての三世代交流を中心に各町が趣向を凝らした内容で長寿をお祝いしています。

市内のその他の100歳以上

103歳 井上 きぬ糸 さん 横 尾	102歳 小田 志げこ さん 坂元町
102歳 志方 かず糸 さん 国正町	102歳 小林 ふじ糸 さん 西剣坂町
100歳 東山 たつ糸 さん 段下町	100歳 福井 いと江 さん 上道山町
100歳 藤川 と み さん 国正町	100歳 去來川じつ糸 さん 御幸町
100歳 高見 と み さん 国正町	



市内最高齢者 十河 好夫 さん

市民病院は、どこまで あなたの健康を守れるのか!?



平成18年 9月30日(土) 加西病院市民フォーラム

午後6時開場 午後7時開演
加西市民会館文化ホール 参加費無料 定員1,000名

参加希望の方は下記へお申込ください。
当日会場でもお申込できます。

託児サービス有(9月21日までに要予約)、託児ボランティア募集しています。

申込み先 加西市役所 経営戦略室
TEL: 0790-42-8700 FAX: 0790-43-1800
E-mail: keiei@city.kasai.hyogo.jp

主催 加西病院市民フォーラム実行委員会

『病院医療の行く末』③

市立加西病院 山 邊 裕

「加西病院市民フォーラム」の開催が決まりました。市民会館に1000名の市民を集めて加西病院の現状を報告し、将来について考えて頂くという催しです。自治体病院に関してこのような市民フォーラムは前例がないのではないかと思います。開催のきっかけは、加西病院で縮小や休診する診療科が出現し、これから地域医療はどうなるのだろうと市民の不安が高まったことです。

勤務医不足に起因するこのような診療科・病棟の閉鎖、救急医療の中止は、今や日本中の病院で吹き出しています。これに対して国が出した処方箋は、「集約化による病院間の機能分担」です。少ない勤務医を有効に利用するにはこれしかない、と説明しています。しかし但馬地域や北播磨の病院を見て分かる通り、集約化は地域中核病院から多くの診療科を消し去ります。

一方、医療制度改革が示すのは、地域に必要な医療体制を従来通りカバーしようとする経済的に相当な負担を覚悟せねばならぬことです。同時に勤務医の確保にも不安定さが付きまといまふ。加西病院市民フォーラムでは、日本の病院医療をめぐる環境、加西病院の現状を報告し、市民の皆さんに病院の将来について考えを持って頂くことが目的です。多数の方に来場頂き、議論を深めて頂きたいと思っています。

2006

かさい健康福祉まつり

☆ テーマ

『地域に広げよう！ 健康づくりと介護予防の輪』

健康で元気な生活ができる地域づくりをともに考えていきませんか。ぜひご参加ください。

◆日 時：11/11(土) 午前10時～午後3時

◆場 所：健康福祉会館(ラヴィかさい)

＜主な内容＞

- ・式典、パネルディスカッション
- ・体操・体験(測定等)・相談・試食・歯科コーナー
- ・子育てひろば
- ・即売コーナー 等

◆問合せ：かさい健康福祉まつり実行委員会事務局
(長寿介護課内) (TEL42-8728)